



潮中だより

鍛錬・尊敬・愛情・感謝

令和7年5月30日第4号

芦屋市立潮見中学校

◇47回生 修学旅行



5月27日から2泊3日の日程で、3年生は長崎方面への修学旅行に行ってきました。

生徒たちは事前学習を通じて、長崎の歴史や文化について学び、平和の大切さを考える準備を整えてから出発しました。

初日は長崎市内を訪れ、原爆資料館の見学や平和学習フィールドワークを行いました。資料館では、被爆当時の写真や遺品を目の当たりにし、原爆がもたらした悲劇を深く感じました。また、爆心地公園では、平和への願いを込めて黙祷を捧げました。2日目の午前中は、長崎市内班別自主研修ということで、自分たちで見学場所を決め長崎市内巡りを行いました。グラバー園や大浦天主堂を訪れ、長崎が異文化と共存してきた歴史を感じました。午後からはミニガタリンピックで楽しみました。そして、今回の修学旅行の主要な取り組みの1つである民泊体験を行いました。3日目は、民泊の各家庭から移動し、港釣りやさつま揚げ作りなど様々な体験学習を行いました。現地の方との寝食を共にした活動や体験学習は普通の旅行ではできない貴重な体験になりました。

修学旅行を通して、長崎の歴史と文化、そして平和の尊さを深く学ぶことができました。また、仲間とともに多くの体験を共有したことで、クラスの絆もさらに深まったようです。

今回の経験を大切に、平和への思いを胸に、これからの学校生活に取り組んでほしいと思います。

3年生の保護者の皆様には、修学旅行実施に際してのご理解とご協力を心より感謝申し上げます。また、3日間の様子を学校ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。